

平成22年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校6年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数量関係 4年	D(2)ア 四則の混合した式	四則の混合した式の計算の順序を理解していること。				○	○	
②		(2)	数と計算 5年	A(3)ウ 小数の除法の計算	小数÷小数の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 5年	A(4)オ 異分母分数の加法の計算（新）	異分母分数の加法の計算ができること。			○		○	
④		(4)	数と計算 4年	A(6)イ 同分母分数の減法（新）	同分母分数（帯分数）の減法の計算ができること。			○		○	
⑤	2		数量関係 5年	D(2) 百分率	割合を百分率で表したり，百分率を割合で表したりできること。			○		○	
⑥	3		数と計算 6年	A(1)ア 整数の性質	具体的な問題場面で公倍数を求めることができること。			○			○
⑦	4		図形 5年	C(1)ウ 平面図形の性質	五角形の五つの角の和の求め方を理解していること。				○	○	
⑧	5		量と測定 6年	B(3)ア 単位量あたりの考え	単位量あたりの考えを用いて，比べ方や表し方を説明できること。		○				○
⑨	6		量と測定 6年	B(3)ア 単位量あたりの考え	単位量あたりの問題を作ろうとしていること。	○					○
⑩	7		数量関係 5年	D(2) 百分率	比較量，基準量から割合を求めることができること。			○			○
⑪	8	(1)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	速さ，道のり，時間の関係を使って，速さを求めることができること。			○		○	
⑫		(2)	量と測定 6年	B(3)イ 速さ	速さ，道のり，時間の関係を使って，時間を求めることができること。			○			○
⑬	9	(1)	数量関係 6年	D(3) 平均の意味	平均の考えを使って，目標とする数値を考えることができること。		○				○
⑭		(2)	数量関係 6年	D(3) 平均の活用	平均を求める問題を作ろうとしていること。	○					○
⑮	10		数量関係 6年	D(5) 起こり得る場合（新）	落ちや重なりがないように順序よく調べることができること。		○				○
⑯	11	(1)	図形 6年	C(1)ア 直方体の理解	直方体の見取図のかき方を理解していること。				○	○	
⑰		(2)	図形 6年	C(1)イ 平行及び垂直の関係	辺や面の平行及び垂直の関係をとらえることができること。		○				○
⑱		(3)	図形 6年	C(1)ア 展開図	立方体の展開図から面の位置関係を考えることができること。		○				○
⑲	12		図形 5年	C(1)エ 円周の長さ	円周の長さの求め方について考えることができること。		○				○
⑳	13		図形 5年	C(1)イ 図形の合同の理解（新）	三角形の合同について理解していること。				○	○	